令和２年度第７回理事会議事録

日時：令和３年３月１３日（土）１３時３０分～１６時４７分

場所：鹿児島県看護研修会館２階研修室

Ⅰ　理事会の構成

理事：１７名　監事：2名　合計１９名

Ⅱ　理事の出欠確認

出席理事　　１７　名

会　　長　　田畑千穂子（代表理事）

副 会 長　　中重敬子

副 会 長　　林　恵子

専務理事　　今村　惠

常任理事　　内司啓子

職能理事　　田中みゆき、潟山勝美、五味靖、柳田千草

准看護師理事　志水恵美子

地区理事　　福島寿美代、國生道代、寺脇佐代子、溝下晴美、松元和代、神園瑞代、和田百代

欠席理事　　０名

Ⅲ　監事の出欠確認

出席監事　　２　名

永山広子、岩重洋一

Ⅳ　会長挨拶（略）

Ⅴ　定足数の確認

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事１６名（会長＝議長は除く）のうち１６名の出席は、議決に加わることができる理事１６名の過半数８名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長（定款第39条）が本会の議長となり、以下のとおり進行した。

Ⅵ　協議事項

1　事業推進に関する事項

１）令和３年度看護の日・看護週間の取組みについて

専務理事は、次にように説明した。

５月１２日から１８日にかけて、市内の商業施設でパネル・写真展を実施するとともに、看護職の仕事・看護職になるための進路の紹介コーナーも設置し、看護人材確保を目的に一般に向けて広報・啓発を行う。

また、７月２２日から８月２９日にかけて「ふれあい看護体験」を実施するとともに、７月から１２月にかけては「みんなで話そう―看護の出前事業」も実施する。

出席理事からは、早くからの検討や準備を行うようにとの要望があり、今後は早めに準備等

を行うことで、出席理事の賛成多数で承認された。

2）障害福祉サービス確保のための支援対策事業について

専務理事は、次にように説明した。

県及び鹿児島市から新型コロナウイルス感染対策として、障害福祉サービス等の従事者に対して、不安等を払拭するための支援を行うための委託事業の提案があった。

障害福祉サービス施設・事業所等に対する相談・支援体制の整備や事業継続計画策定研修会の開催など、コーディネートの配置も含めて進めたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3）与論町から在宅支援に関する要請について

会長は、次のように説明した。

与論町は、保健医療福祉資源が限られているとして、医療機関・介護施設・障害者支援施設等の人材育成・確保により在宅支援の充実を進めたいと同町から本協会へ支援要請があった。

具体的な支援内容等については、今後与論町や同町社協とも協議しながら進めたいと考えている。

出席理事からは、本県は離島が多いことから、特定の自治体のみに支援することは公平性を考えると疑義が生ずる。県にも相談する必要があり、本日においては、同町の要請内容等も不十分で、地元医療機関などとの調整も必要である。

このことについては、支援要請内容等を十分に把握するとともに、県とも協議するなどしてから、再度、理事会で検討する継続審議事項とすることとなった。

2　管理的事項

1）職員の人材確保について

会長の指示により、事務局長は次のとおり説明した。

公益法人認定から８年が経過し、現在は事業費をはじめ受託事業も大幅に増加し、ソフト・ハード面、システムなど改修・改善時期ともなり、今後の各種事業・事務処理も含め適正な運営・進行・執行を進めて行く上では、職員の人材確保が極めて重要である。本協会の職員構成の傾向としては６０歳代が多く、出勤日数も４日・３日以下が多い状況である。また、今年度末には２名の退職が予定されている。このような状況の中、事務局としては、４月以降、総務部・教育部・訪問看護ステーションかごしま・ナースセンターの各部所に職員各１名を雇用するために募集を始めたい。なお、適正な人件費率に中で進めることとし、実際の雇用に当たっては、当理事会へ報告する予定です。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

2）令和２年度補正予算案について

会長の指示により、事務局長は次のとおり説明した。

令和２年度収支予算要求書（補正案）について、法人全体を見ると、収益は、８，３２６千円増えて２２１，３５７千円、費用は６，８３５千円増えて１９９，６５５千円となり収益と費用

の差額は２１，７０２千円を見込んでいる。

収益の科目別では、教育事業が新型コロナ禍により減収、一方訪問看護ステーション事業が増となっている。また、受託事業では、新型コロナ関連の事業が増えている。

費用の科目別では、職員増や社会保険料率のアップ等により人件費の増、新型コロナウイルス関連による費用が増えている。

資金収支予算書についても、同様である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3）令和３年度予算案について

会長の指示により、事務局長は次のとおり説明した。

収支予算は、経常収益２２９,３８２千円、経常費用２０４,６６０千円で、当期経常増減額は２４,７２２千円を見込んでいる。

また、設備投資については業務用のパソコンの更新等を、公益認定基準の財務三基準では、収支相償、公益目的事業比率５０％以上については基準を満たし、遊休財産の保有制限について適正な処理を行う。

経常収益では、自主事業の訪問看護ステーション事業と受託事業の新型コロナウイルス関連事業が増となっている。なお、受託事業については概算額であり、４月以降契約を締結する時に事業内容や金額が詳しく判明する予定である。教育事業は、令和３年度の後半から新型コロナウイルスが終息するものと仮定して算出している。受取補助金等では、IT 導入補助金を新たに計上している。

経常費用では職員増や社会保険料率のアップなどからの人件費の増加、新型コロナウイルス関連の消耗品費や研修会会場の賃借料の増、租税公課は前年度の学術集会開催に伴う収益の増に伴うもの、また、委託費については、システムの新規導入や更新に伴う保守経費等である。

資金収支予算書では、現金預金など資金の収入と支出の状況を表している。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

4）令和３年度鹿児島県看護協会通常総会及びプログラム並びに議案について

専務理事は、５月２９日の通常総会及びプログラム並びに議案について説明した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

5）令和３年度役員・職能委員・推薦委員候補者及び２０２１年度代議員・予備代議員ついて

専務理事は候補者名簿を提示し、全候補者とも出席理事全員から賛成があり、承認された。

6）令和３年度副会長及び常任理事候補者の選定について

会長は候補者を提示し、副会長候補者、常任候補者の選定について説明し、両候補者とも出席理事全員から賛成があり、承認された。

3　会員支援

・　鹿児島県看護協会長表彰者候補者の推薦について

専務理事は、本協会名誉会員推薦規定に基づき３０名を推薦すると説明した。

このことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

Ⅶ　報告事項

1　事業推進に関する事項

1）教育事業について

2）研修システムについて

3）看護師等養成所実習補完事業について

4）看護職員就業相談事業について

5）地域の医療提供体制確保のための看護職員の派遣調整事業について

6）新型コロナウイルス感染症に係る企業からの寄付金での緊急用 PPE 配布について

7）訪問看護供給体制確保推進事業について

8）訪問看護総合相談センターに関することについて

2　管理的事項

1）理事会・運営委員会議事録について

3　会員支援

1）令和２年度及び令和３年度の鹿児島県看護協会会員数

4　その他

(1)　日本看護協会理事会報告（口頭報告）　(2)　職能委員会報告（書面報告）

(3)　地区報告（書面報告）　(4)　委員会報告（書面報告）　(5)　地区長情報交換会報告（口頭報告）(6)　他団体会議報告（書面報告）　(7)　出張報告（県外）(書面報告)

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、１６時４７分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和３年３月１３日

公益社団法人　鹿児島県看護協会

代表理事（会長）　田畑千穂子　印

監　　事　永山広子　印

監　　事　岩重洋一　印